

2010 年 2 月吉日

報道関係者各位

ご案内

当事者の経済的な負担の現状を、国政の場に届けるために活動中！
「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」
「国会請願(3回目)に向けての署名活動」
実施中！

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

当事者による実態調査としては過去最大規模のアンケート調査

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ、「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、昨年 12 月より「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施中です。すでに 800 名以上の当事者からの回答を得ており、日本における当事者による実態調査としては過去最大規模と思われます。

質問項目には「不妊治療費」についてだけでなく、「不妊治療費以外の経済的負担」や「特定不妊治療費助成事業に対する当事者の考え・要望」についても盛り込みました。

日本では夫婦 10 組に 1 組以上が不妊といわれています。2007 年には日本における体外受精・顕微授精の治療周期数は 16 万周期を超えました。しかし、これらは自費診療のため 1 回あたり数 10 円万の費用がかかり、患者にとっては大きな経済的負担となっています。

不妊当事者の経済的な負担の内容として、治療の多くが保険適用外であり治療費が高額であること、その他にも「居住地から遠く離れた医療施設に通院する場合には、交通費や宿泊費も高額になる」「明確な通院スケジュールが立ちにくいことが多く、治療と仕事の両立が困難になり、転職や退職をして収入が減った」などがあります。経済的な負担により治療を断念するカップルも多数いるのが現状です。

Fine は、このアンケート調査により、今まであまり明らかにされなかった、「不妊治療費以外の項目も含めた不妊治療の経済的な負担」「現行の助成金制度に対する当事者の考え・要望」を把握し、国政の場に、より正確な当事者の声をもとにした負担軽減策を訴えていきます。

体外受精・顕微授精の治療周期数についての参考資料(日本産科婦人科学会平成 20 年度倫理委員会登録・調査小委員会報告) http://www.jsog.or.jp/activity/pdf/Rinri_report6109.pdf

アンケートについての参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi?id=keizai>

国会請願(3回目)に向けて、署名活動実施中！

Fine は不妊患者の経済的負担の軽減を求めて、2007 年に不妊患者団体としては初の国会請願を実施、全国から約 15,000 名の署名が集まり、請願提出時には、衆議院・参議院あわせて 34 名の議員に紹介議員となっていただくことができました。第 2 回目は 2009 年 5 月に実施し、約 13,000 名の署名が集まり、38 名の国会議員に紹介議員となっていただくことができました。現在、第 3 回目の国会請願に向けて、署名活動を実施中です。

今回は請願項目として、以下の 2 点を挙げました。

- ・ 特定不妊治療費助成事業より給付される補助金の更なる増額と、制度(条件等)の見直し
- ・ 不妊治療の保険適用範囲の拡大

不妊治療は治療内容の多くが保険適用外であるため患者の経済的負担は重く、そのために子どもを諦めるカップルが多数いるのが現状です。公的支援として 2004 年にスタートした「特定不妊治療費助成事業」は、多くの患者の助けになる一方で、さらなる見直しが望まれています。

Fine ではこうした現状を踏まえながら、今後も当事者の立場から活動を続けていきます。

「今回の請願」についての参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

NPO 法人 Fine これからの活動予定 (2010 年 2 月 1 日現在)

- 2 月 IAPO (国際患者団体連合会議) 出席 (トルコ・イスタンブール)
iCSI (国際不妊患者支援団体会議) 出席 (トルコ・イスタンブール)
- 5 月 不妊患者の経済的負担軽減を目指すための国会請願実施
全国おしゃべり会開催予定 (詳細は後日決定)
- 「不妊患者の経済的負担軽減を目指す陳情書」提出 (詳細は後日決定)

NPO 法人 Fine これまでの活動実績 (抜粋)

日本初! 不妊ピア・カウンセラー養成講座の運営

日本で初めて、不妊に特化したピア・カウンセラーを養成、1 年間の厳しいカリキュラムを経て認定試験に合格した Fine 公認ピア・カウンセラーたちは、全国で活躍中です。養成講座は現在、第五期を開講中
参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/counseling/2009/piacouns.htm>

日本初! 不妊当事者団体として、国会請願を実施!

不妊当事者団体として初めて、2007 年 10~11 月に、不妊治療に関するすべての薬剤と検査に対する保険適用を求めて国会請願を実施! 集まった署名は約 15,000。34 名の国会議員にご協力いただきました
2010 年、不妊患者の経済的負担の軽減をめざし、第 3 回目の国会請願を実施予定
参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei2009.html>

『Fine 祭り 2009 そこが知りたい! 不妊』を開催

2008 年 11 月 2 日、東京ウイメンズプラザにて『Fine 祭り 2008 ひとりじゃないよ! 不妊』開催。入場者約 500 名。

2009 年 11 月 3 日、日経ホールにて『Fine 祭り 2009 そこが知りたい! 不妊』を開催。入場者数約 550 名
参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/matsuri/2009/matsuri.html>

不妊に関するさまざまな調査を実施

2009 年「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」を実施

2010 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」実施中!

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi?id=keizai>

各種要望書の提出

これまでに、厚生労働省に「新薬認可の要望書」、「保険適用の効能追加の要望書」、「自己注射の要望書」を提出。すべての要望書が承認されました!

2009 年 新たに「黄体ホルモン補充製剤プロゲステロン膣座薬の承認要望書」を提出しました

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/yobo/pro.html>

カウンセリング事業

専門家によるカウンセリングの実施、ピア・カウンセラーによる電話相談、面接カウンセリングを実施

学会・研究会への参加・発表

2009 年 ESHRE (欧州生殖医学会) 患者部門にてゲストスピーカーとして発表 (オランダ)

2009 年 第 27 回日本受精着床学会総会・学術講演会「生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」において患者代表としてスタッフ 3 名が発表

媒体関係 (取材や協力)

朝日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・北海道新聞・京都新聞 他
NHK「クローズアップ現代」・日本テレビ系ニュース番組「今日の出来事」・日本テレビ G+「医療ルネッサンス」・NHK「@ヒューマン」 他 週刊朝日・赤ちゃんが欲しい・AERA・Domani 他

その他

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加 (2005 年、2006 年、2007 年、2008 年、2009 年)

~ Fine 会員は約 900 名 (2010 年 1 月現在) さらに SNS も開設! 登録者約 720 名 (2010 年 1 月現在) ~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽 1-32-4 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail : NPO 法人 Fine 広報窓口 : finekouhou@j-fine.jp